

|             | 京成電鉄  | 新京成電鉄 | 北総鉄道 |
|-------------|---|-------|------|
| 平成22年(2010) | 7月17日、京浜急行の羽田空港駅と一部三崎口駅から成田空港線との直通運転開始。成田～羽田の両空港間を約100分で運行。 |       |      |
| 平成25年(2013) | 本社を押上から千葉県市川市の京成八幡駅前に移転。                                    |       |      |

「関東の私鉄の歴史」は今回で終了とさせていただきます。半年にわたってご覧いただき有り難うございました。関東地方には連載で取り上げた大手私鉄以外にも、数多くの中小私鉄がありますが、割愛させていただきました。6回の連載で、大手私鉄の歴史を路線別に記述してお互いに比較できるようにしました。吸収合併した路線がかなり見受けられたり、合併して現在の路線になったりいろいろなケースがあります。廃線になった路線もあります。

従来の鉄道会社の歴史はすべての路線を一緒くたにして時系列的に記述している場合が多く、分かりづらいことが多く、自分なりに整理して今回のような記述にいたしました。

なお文字だけだと分かりづらいので、是非時刻表の路線図をたどりながらご覧になっていただければと思います。

最近「鉄ちゃん」という言葉が生まれ、鉄道に関心を持つ方が増えてきているようですが、「鉄ちゃん」はどちらかというと走る鉄道を写真に撮ったり、関連商品を収集する人達をさすことが多いようです。

今回の連載では車体のことやその性能とかには触れておりません。あくまで各鉄道会社が、どの時代にどのように路線を伸ばしていったのか、買収した路線のこと、他社との相互直通運転のこととかを年代順に述べてみました。

ところで私が鉄道の歴史に興味をもったのは、石黒三郎＋アイランズ編の「図説・鉄道パノラマ地図」(河出書房新社刊)を読んでからで、特に各私鉄が最初に引いた路線が予想していなかった駅から駅をむすんでいて、そこを基点として路線を延伸していったこと、吸収合併がかなりあったり、駅名がかなり変遷して現在の駅名になったことを知ってからのことです。そこでひごろよく利用する関東の私鉄の歴史を調べ、所沢三田会の歴史研究会で発表したところ、同会の竹下会長より、所沢三田会のホームページ載せてみたらとのことで、同会の新倉さんの協力を得て6回に分けて連載した次第です。

(所沢三田会歴史研究会 柿原 智 記)

「訂正」連載中の文章に訂正箇所がありました。お詫びして訂正いたします。

また新たに加える文章と抹消する文章を下記に列挙いたします。

|        |             |   |
|--------|-------------|---|
| 西武鉄道   | 平成元年(1991)  | 「4月、秩父鉄道の三峰口、野上に直通運転開始。<br>現在は三峰口と長瀬まで。(土休日運転)」を加える。  |
| 東武鉄道   | 昭和39年(1964) | 「5月、日比谷線が北千住～中目黒間全通。<br>相互直通運転区間が北越谷～中目黒間となる。<br>東急東横線とは中目黒駅が連絡駅となる。」に訂正。<br>* 東武鉄道と東急東横線とは相互直通運転はしておりませんでした。           |
| 東武鉄道   | 昭和63年(1988) | 「8月、日比谷線経由、東横線との直通運転区間が菊名まで伸びる。」の文章を全文抹消する。   |
| 京浜急行電鉄 | 平成3年(1991)  | 「3月31日、京浜急行電鉄、東京都交通局(都営地下鉄浅草線)、<br>京成電鉄、北総開発鉄道(現北総鉄道)の4社の間で相互直通運転開始。」の文章を加える。   |
| 京浜急行電鉄 |             | 「最近の時刻表より」- 一番最後の欄 -<br>o羽田空港～京成成田を羽田空港～成田空港に訂正。<br>o三崎口～京成成田を三崎口～成田空港に訂正。<br>o三崎口～青砥の後に(一日30数本)をいれて、三崎口～青砥(一日30数本)に訂正。 |

(以上)